

# 情報リテラシー(理系)

情報リテラシー(理系)の講義内容のうち、特に**TeX**についての参考図書などを記述

## Index

### I. 1. ことばの定義を確認してみよう

**TeX**ということばの意味を、辞書などでおさえておきましょう。

### II. 2. **TeX**の基礎を知ろう

**TeX**にはどのような種類があるのか、**TeX**にはどんなコマンドがあるのか、といった事に関して予め基礎と概要を調べておくと、応用を調べる際にキーワードを考えやすくなります。範囲が大変広いので何に注目して探索を行なうかをこの時点から検討しながら知識を深めましょう。

### III. 3. 関連する図書を探そう

まずは入門的な図書からスタートして、本を読みながらキーワードを広げたり、絞り込みを行ったりして軌道修正しつつ、探索を進めましょう。

### IV. 4. インターネットで探そう

様々な有用サイトがオンライン上に存在しています。検索エンジンなどを用いて、探してみましょう。

## ■ 本講義の目的およびねらい

情報化社会を生き抜く上で重要な能力とは、

- (1) 必要な情報を効率的に探せること
- (2) 情報を適切に編集・加工できること
- (3) 情報を効果的に発信できること

の3点です。講義では、大学での学術活動に必須となる情報スキルの習得を目指します。

特に、情報発信のための技法として、「プレゼンテーション」「Web」「文書作成」に焦点を絞り、理系分野での研究・教育で活用頻度の高いノウハウの習得を目指します。

キーワード

**LaTeX**

文書作成

タグ

**TeX**

情報発信

コマンド

## 1.1. ことばの定義を確認してみよう

**TeX**ということばの意味を、辞書などでおさえておきましょう。

資料情報	請求記号	配架場所
岩波情報科学辞典 / 長尾真〔ほか〕 編. 岩波書店, 1990.5	007.03  N	中央参 (2階)

- **Japan Knowledge**を用いてオンラインで「日本大百科全書」などが調べられます。  
<http://www.nul.nagoya-u.ac.jp/db/DBannai/dbebook.html#jkn> (学内限定)

情報を探している途中で分からない用語が登場したときにも、辞書や事典をひいて、理解を深めながら探索するよう心がけましょう。



## 2.2. TeXの基礎を知ろう

**TeX**にはどのような種類があるのか、**TeX**にはどんなコマンドがあるのか、といった事に関して予め基礎と概要を調べておくと、応用を調べる際にキーワードを考えやすくなります。範囲が大変広いので何に注目して探索を行なうかをこの時点から検討しながら知識を深めましょう。

### TeXを扱う前に

- 大学でのTeXの実習で用いているものはpLaTeXというTeXを拡張したソフトウェアです。
- pLaTeXは大学のPCにはインストールしてありますが、  
個人のPCで利用する際には、各自で適宜インストールをする必要があります。  
また、TeXのソフトウェアがバージョンアップする事があるため、  
個人のPCにインストールしている場合は、  
バージョンアップした際にソフトウェアをアップデートするなどの対応が必要です。
- TeXでの文書作成をこれからも行っていこうと考えている場合、  
TeXのコマンド辞典などは自分に合ったものを購入しておくくと便利です。

### はじめの一步のキーワード

キーワードを工夫して分野を広げたり、絞り込んだりします。関連しそうなキーワードを考えてみましょう。

キーワードの例	文書クラス, 注釈, フォント, 数式, 図, 表 相互参照, 文献参照, レイアウト
---------	--

これ以外にも色々なキーワードを工夫してみましょう。情報を探している途中で、新たな関連語を見つけて追加・方向修正していくことで、検索の幅が広がっていきます。

### 概要を知るために

上で挙げたキーワードなどを確認してみましょう。

このような専門系事典・辞典類は、後の探索で技術用語が登場した場合にも役に立ちますのでチェックしましょう。



タイトル LATEX 2ε美文書作成入門  
著者名 奥村晴彦I著, 奥村II晴彦(1951-)  
ひとこと紹介 **LaTeX**の基礎, 基本的な使い方, **LaTeX**文書の作成法,  
関連ツールの使い方等を説明

### 3.3. 関連する図書を探そう

まずは入門的な図書からスタートして、本を読みながらキーワードを広げたり、絞り込みを行ったりして軌道修正しつつ、探索を進めましょう。

#### OPACで図書を探しましょう

オンライン目録(OPAC)で、名古屋大学の蔵書を調べることができます。「キーワード」を入力して検索してみましょう。

調べ方がわからない時は、ガイドシートリスト(OPACやデータベースの使い方)があります。  
<http://www.nul.nagoya-u.ac.jp/guide/gsheets/index.html>

#### 入門的な図書を読んでみましょう

図書の章末や巻末に掲載されている参考文献などから、更に関連図書を探してみましょう(チェイニング(芋づる式探索))。



図書(の章節)

タイトル LATEX 2ε美文書作成入門  
 著者名 奥村晴彦<sup>I</sup>著, 奥村晴彦(1951-)  
 ひとつこと紹介 LaTeXの基礎, 基本的な使い方, LaTeX文書の作成法, 関連ツールの使い方等を説明



タイトル 一週間でマスターするLATEX 2ε: for Win & Mac  
 著者名 大浦淳<sup>I</sup>著, 大浦淳(1968-)  
 ひとつこと紹介 LaTeXを用いた, 簡単な文書の作成から実践的なレポート/論文の書き方等を記述



図書(の章節)

タイトル TEXブック: コンピュータによる組版システム  
 著者名 Donald E. Knuth<sup>I</sup>著, 鷺谷好輝<sup>I</sup>訳, Knuth, Donald E(1938-), 鷺谷好輝  
 ひとつこと紹介 TEX開発者による公式マニュアル



図書(の章節)

タイトル 逆引きLATEX  
 著者名 D. J. バーガー<sup>I</sup>著, 引地信之, 引地美恵子<sup>I</sup>訳, Buerger, David J. , 引地信之, 引地美恵子  
 ひとつこと紹介 技術者や研究者向けのLATEXの入門書。本書を使用すると、非常に複雑な数式や多くのルールを持つ組版の仕上げが簡単になり研究者や技術者に必要な高質な技術文書が作れ組版の標準に従った仕上がりになる。

#### ブラウジングでも図書を探してみましょう

直接、図書館の棚に行って、関連分野の分類番号を中心に探してみましょう(ブラウジング)。

附属図書館の利用案内を見れば、分類表や中央図書館の資料配置が分かります。  
<http://www.nul.nagoya-u.ac.jp/guide/index.html>

分類番号	分野
021.49	コンピュータによる編集 (LaTeXはここに含まれます)
007.6	データ処理. 情報処理 (パソコンについて基本的なことが知りたい場合はここ)

この分類以外にもあちこちに関連する本が配置されています。  
 是非、OPACのキーワード検索で眠っている資料を探してみましょう！

国内で刊行されている図書を探しましょう

#### Webcat Plus

全国の1,000以上の大学図書館等が所蔵する図書・雑誌の総合目録データベースを、日本語の図書の内容・目次データから検索できます。「連想検索」システムで、検索ごとに関連ワードが表示され、検索枠を広げていくことが出来ます。(http://webcatplus.nii.ac.jp/)

#### NDL-OPAC

国立国会図書館が所蔵する図書・雑誌の総合目録データベースです。(http://opac.ndl.go.jp/)

#### 愛蔵くん(愛知県内図書館 横断検索)

愛知県内の市町村立図書館等の所蔵を一括検索できます。大学図書館よりも、より平易な一般書の所蔵が多くなっています。(http://www.aichi-pref-library.jp/oudan/aichi\_oudan\_f.htm)

名古屋大学で所蔵していない図書は、取り寄せて借りることもできます。  
 所属別申込先一覧をご覧ください。(公共図書館の場合は中央図書館へ。)  
<http://www.nul.nagoya-u.ac.jp/guide/ILLplace.html>

## 4.4. インターネットで探そう

様々な有用サイトがオンライン上に存在しています。検索エンジンなどを用いて、探してみましょう。

インターネットでの検索

Googleなどの検索サイトに知りたい情報のキーワードを打ち込めば、解決する場合もあります。エラーについて調べたい場合は、エラーメッセージをそのままGoogleの検索窓にコピー&ペーストしてみましょう。

Google (<http://www.google.co.jp/>)

得られた情報は、必ず発信源を確認して、その信頼性を吟味しましょう。また、複数の情報源で確認し、活用方法を考えましょう。



インターネット・DB

タイトル **TeXWiki**  
 著者名 奥村晴彦(三重大学 教育学部 情報教育課程 教授)  
 リンク先 <http://oku.edu.mie-u.ac.jp/~okumura/texwiki/>  
**URL**

TeXの入門から関連ツール、用語・略語集もあり。  
 ひとこと紹介 「TeXWiki:TeXの本」には、参考になる図書やWebページが紹介されています。



インターネット・DB

タイトル **MyTeXpert**  
 著者名 渡辺徹  
 リンク先 <http://mytexpert.sourceforge.jp/index.php?FrontPage>  
**URL**

TeX/LaTeX の初学者向けの対話システムやマニュアル・プログラムを配布。入門書が紹介されているほか、渡辺徹氏作成の以下ハンドブックなどを無料でダウンロードできます  
 ●好き好きLATEX2ε ハンドブック編 / 渡辺徹. -- 第0.0.5 版. -- Web, 2008(PDF 1.8MB)  
 LATEX の主要なコマンドを収録したポケットブック。  
 レポートや論文を作成する学生・研究者向けに、頻繁に用いるコマンドを収録。